

令和2年度 事務事業評価(令和元年度実施事業事後評価)シート / 令和3年度 実施計画調書 (  新規  拡充  縮小  休止・廃止  現状維持 )

1 事務事業の基本情報											整理番号	033			
事務事業名	商店街活性化経費				補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算	会計名	一般会計	款	項	目	事業
担当部	産業振興部	担当課	商工観光課		担当係	商工係						7	1	2	2
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称: )				根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: ) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称: ) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則 (名称: )									

2 事務事業の概要											☞ 予算事業全体について記入して下さい。			
対象	・商店街を活性化に意欲のある団体 ・空き店舗を活用する個人事業主				内容・手段	・中心市街地活性化の先進地事例を情報提供 ・空き店舗調査をおこない、市補助金制度の利用促進を図る								
目的	中心市街地におけるイベントの実施および空き店舗を利用した新規創業者の増加により、商店街の活性化を図る。													

3 事務事業の主たる成果指標											☞ 数値目標の設定が困難な場合は、文言目標でも結構です。なお、設定が困難な事業は空欄とし、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。			
指標名	空き店舗活用事業補助金利用件数	単位	件	目標値	2	目標年次	毎	年度	指標及び目標値設定の考え方 (または設定できない理由)	直近3年間の利用実績から算定。				

4 事務事業の実績 ①				2年間の主な事業内容(実績)											
平成29年度				前年度(平成30年度)											
決算額	6,795,718	円	内訳	特定財源	2,390,000	円	一般財源	4,405,718	円	①中心市街地活性化事業支援補助金に関する事 ・補助金書類の受理および実績報告に基づく支払い 3件 ・先進地研修・視察 1回 ②空き店舗活用事業補助金に関する事 ・補助金書類の受理および実績報告に基づく支払い 5件 ③商店街活力向上支援事業費補助金に関する事 ・事業内容検討に関する会議 25回 ・水海道地区、石下地区イベントの開催 3回 ・常総いいあんぱい瓦版の発行 4回 ・石下地区空き店舗活用ワークショップの実施 1回 ④市民の広場内の仮設トイレに関する事 ・賃借料および清掃委託料の支払い 12回 ⑤にぎわい再生モデル事業に関する事 ・報償費の支払い 2件 ⑥街路灯管理費負担金に関する事 ・負担金の支払い 2件					
目標に対する実績値				2	件										
(住民一人あたりの行政コスト)				112	円										
平成30年度				今年度(令和元年度)											
決算額	11,433,734	円	内訳	特定財源	2,990,000	円	一般財源	8,443,734	円	①中心市街地活性化事業支援補助金に関する事 ・補助金書類の受理および実績報告に基づく支払い 5件 ②空き店舗活用事業補助金に関する事 ・補助金書類の受理および実績報告に基づく支払い 5件 ・空き店舗調査の実施 1回 ③市民の広場内の仮設トイレに関する事 ・賃借料および清掃委託料の支払い 12回 ④にぎわい再生モデル事業に関する事 ・報償費の支払い 1件 ⑤街路灯管理費負担金に関する事 ・負担金の支払い 2件					
目標に対する実績値				2	件										
(住民一人あたりの行政コスト)				191	円										
令和元年度															
決算額	4,569,170	円	内訳	特定財源	0	円	一般財源	4,569,170	円						
目標に対する実績値				2	件										
(住民一人あたりの行政コスト)				77	円										

5 担当課評価 ②		☞ 実施したことによる成果や課題を記入してください。	
成果	目標どおり		
成果内容分析	空き店舗活用事業補助金の利用実績を見ると、1件は現在の店舗が手狭になったことによる2号店の開設、もう1件は外国人向け洋服店の新規創業となっております。申請者から、補助金について商工会や金融機関を通して制度を知ったとのことであり、目標達成の要因は、外部機関との創業に係る連携がうまく機能し始めたものと思われます。		
課題	空き店舗調査を進める中で、空き店舗所有者の中には、貸す意思はあるが不動産業者を仲介していないケースが多々あるため、今後契約書を交わす等トラブル防止策について検討していく必要があります。		

6 担当部長評価 ③		☞ 担当部長で協議のうえ、評価してください。	
事務事業の方向性			
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
評価理由	商店街の活性化は非常に重要な課題であり、現在の新たな問題として、商店の後継者問題や商店による高齢者買物難民対策など、今後も、市・県の補助事業の展開や、空き店舗補助事業の内容見直しを図るなど、積極的に事業を展開する必要があります。		

8 行政改革懇談会(市民)の意見		☞ 担当部長評価のとおりでよい。	
商店街の活性化に必要なのは、そこに関わる「人」であり、「人」が能動的に汗をかかなければいくら税金をつぎ込んででも無駄である。成功地を大いに参考にし、市・県の補助事業の展開や空き店舗補助事業の内容見直しを図り、積極的に事業を展開していただきたい。			

9 最終評価(行政改革推進本部) ④		☞ 実施計画のみ作成する場合も記入してください。	
事務事業の方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
評価理由	行政・民間・地元商店街が一体となって取り組んでいかないと進展はできない。行政が補助事業や民間資金を活用できるように研究し、地域が主体となって中心市街地の拠点整備として事業展開していく必要がある。また、TMOの設立も視野に検討するべきである。		

7 実施計画 ⑤											☞ 今後3年間について、何をどの程度実施していくか具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。								
年度	令和2年度				令和3年度				令和4年度										
事業内容	●市民の広場内仮設トイレの管理及び運営等 2,330千円 ●空き店舗活用事業補助金 1,200千円 コミュニティカフェ広場賃借料補助3ヵ月、甘味屋きりん賃借料補助8ヵ月、物コミュニケーション賃借料補助12ヵ月、セストセンチド賃借料補助12ヵ月、新規1件(改装費1件)を想定。 ●中心市街地活性化支援費補助金 1,200千円 常総ごじゃっぺ短期大学校、スマイルfor常総実行委員会、石下中央商店会、懐かシネマ実行委員会の計4件を想定。 ●茨城県関東・東北豪雨被災中小企業復興支援基金の受付事務および申請団体、茨城県、茨城県中小企業振興公社との連絡調整 ●空き店舗調査の実施 ・両地区の中心市街地において、空き店舗数と営業店舗数の把握をし、空き店舗に関しては、商店主に貸出の意向調査を実施。 ●情報誌発刊の検討 ●商店会先進地視察の実施 20千円 ●街路灯管理費補助 48千円				●市民の広場内仮設トイレの管理及び運営等 2,330千円 ●空き店舗活用事業補助金 1,140千円 物コミュニケーション賃借料補助3ヵ月、セストセンチド賃借料補助5ヵ月、既存2件賃借料補助(R2より)24ヵ月、新規1件(改装費1件)を想定。 ●中心市街地活性化支援費補助金 1,500千円 常総ごじゃっぺ短期大学校、スマイルfor常総実行委員会、石下中央商店会、懐かシネマ実行委員会、常総朝市の計5件を想定。 ●空き店舗調査の実施 ・両地区の中心市街地において、空き店舗数と営業店舗数の把握をし、空き店舗に関しては、商店主に貸出の意向調査を実施。 ●情報誌発刊の検討 ●商店会先進地視察の実施 20千円 ●街路灯管理費補助 48千円				●市民の広場内仮設トイレの管理及び運営等 2,330千円 ●空き店舗活用事業補助金 980千円 既存2件賃借料補助(R3より)24ヵ月、新規1件(改装費1件)を想定。 ●中心市街地活性化支援費補助金 1,500千円 常総ごじゃっぺ短期大学校、スマイルfor常総実行委員会、石下中央商店会、懐かシネマ実行委員会、常総朝市の計5件を想定。 ●空き店舗調査の実施 ・両地区の中心市街地において、空き店舗数と営業店舗数の把握をし、空き店舗に関しては、商店主に貸出の意向調査を実施。 ●情報誌発刊の検討 ●商店会先進地視察の実施 20千円 ●街路灯管理費補助 48千円										
	成果指標	指標名	空き店舗活用事業補助金利用件数	単位	件	目標値	2	指標名	空き店舗活用事業補助金利用件数	単位	件	目標値	2	指標名	空き店舗活用事業補助金利用件数	単位	件	目標値	2
	予算額	歳出	計			4,844	千円	歳出	計			5,038	千円	歳出	計			4,924	千円
			特定財源				千円		特定財源				千円		特定財源				千円
歳入		一般財源			4,844	千円	歳入	一般財源			5,038	千円	歳入	一般財源			4,924	千円	
		計			4,844	千円		計			5,038	千円		計			4,924	千円	

10 事務事業の改善点と理由 ⑥		☞ 実施計画のみ作成する場合も記入してください。	
事業内容			